

令和7年度 第1回坂戸市健康なまちづくり審議会における委員からの質問事項への回答（別添）

指摘事項	回答
資料2の健康増進計画6ページ「第3次坂戸市健康増進計画基本方針6 人と人がふれあう機会をつくる」のNo.71、市民生活課が担当する「コミュニティづくり推進事業」について、具体的な取り組み例を紹介していただきたい。	一般財団法人自治総合センターが宝くじの社会貢献広報事業として実施している「コミュニティ助成事業」の補助金を利用し、自治会が使用する備品等の整備を行っている。令和6年度は1団体（市内の自治会）に対し、集会所のエアコンや照明LED化の修繕に助成した。地域活動の拠点施設である集会所の環境を改善することで、地域コミュニティの活性化に寄与している。 さつき賞は、地域活動に長年貢献している市民を表彰し、地域活動の更なる活性化を促す目的で実施している。令和6年度は個人3名と4団体が受賞した。 ご質問いただいた地域と学校の取り組み例については、把握していない。
外国人を対象とした事業は実施しているか。	市民健康センターでは、希望があれば外国籍の妊婦に外国語版の母子健康手帳を交付している。令和6年度は全体で475人に交付し、そのうち外国語版の交付は37件だった。